はじめに

「三〇〇でダイジョーブ？」

「モチロンよ！」

文姫（あやひめ）「コゴタロウ、よく聞きなさいね。これまで国立大学の二次試験や多くの私立大学で出題されてきた単語は、意外にもほとんどが基本的な重要古語だったのよ！」

コゴタロウ「ワン！　文姫さま、たとえばどんな形で試験に出たんですか？」

文姫「それはね、大きく分けると次のような五つの形式があったのよ。

① 直接に単語そのものの意味をきいているもの
② 問われている単語の前か後ろの重要語がヒントになっているもの
③ 問われている単語の主語や目的語がヒントになっているもの
④ 助動詞や助詞の解釈が決め手になっているもの
⑤ 文脈の流れの中でその意味が決まるもの

と、まあ、こんな感じかな？　でも、解答のポイントになったのは、合わせても三〇〇語ぐらいだったのよ！」

コゴタロウ　「文姫さま、ボクはハイレベルをねらっているんだけど、**ほんとに三〇〇語でダイジョーブなんですか？**」

文姫　「**モチロン三〇〇語でダイジョーブよ！**　コゴタロウは心配性ね。アナタみたいな人がいると思って、三〇〇の見出し語に、派生語・同義語・類義語・関連語・反対語なども参考として加えたのよ。これらをぜ～んぶあわせると、六四〇語ぐらいになるわ。もしも、アナタに余裕があったら、これらも合わせて覚えてほしいわ」

コゴタロウ　「そ～か、全部で六四〇語もあるんだあ。ワン！　ところで、この本には、それ以外にどんなものが載っているんですか？」

文姫　「あら、コゴタロウ、よく聞いてくれたわ！　この本にはね、敬語はモチロンのこと、慣用句や文法事項も入っているのよ。オマケに、古典常識や文学史の勉強もできるわ。どう、驚いた？」

コゴタロウ　「ワン！　びっくりしました。すごく役に立ちそうですね。ボクもガンバリます！」

「どうやって覚えるんですか？」

「理解することで覚えるのよ！」

コゴタロウ　「文姫さま、ボクは、今まで、ゴロ合わせの丸暗記をしてきたんですが、そのやり方だと答えの見つからないときがあったんですよ」

文姫　「そうなのよね！　昔は、それでもよかったんだけど、最近では、文脈に即した適切な訳を考えないとダメなのよ」

コゴタロウ　「**じゃあ、どうやって覚えるんですか？　ワン！**」

文姫　「そうね、単なる丸暗記じゃなくて、**その単語の語源や派生語とか、漢字などと結びつけたりしながら、深く理解することで覚えていくといいわね。**だって、一語一語の深い意味がわかってくると状況や場面の理解ができるようになるから、文脈が読み取りやすくなるのよ。だから、かならず各単語についての説明のところもじっくりと読んでね。そうすれば応用が利くようになるし、ほんとの実力がつくようになるわ」

「入試ではどう出たの？」

「実際にはこう出たわよ！」

コゴタロウ　「文姫さま、ボクは、実際の入試問題のことをあまりよく知らないんですよ。実際にはどんな風に出るんですか？　ワン！」

文姫　「ソレなのよ、コゴタロウ。よく聞いてくれたわね。この本は、今までの単語集と違って、**試験ではこう出た！**という形で、実際に出た問題をすべての単語に付けたのよ。大学ごとの傾向もなんとなくわかるわ。これがこの本の画期的なところね！」

コゴタロウ　「それならボクでも簡単にやれそうだ、ワン！」

文姫　「問題を解くことで、単語の意味も幅広く正確に身につくようになるわ。ところで、コゴタロウ、アナタは、さっきからワンワンほえているけど、さすがにＯＮＥというように一回では覚えられないわよ。繰り返し練習することが大切なのよ。わかりましたか？」

コゴタロウ　「ワン！　文姫さま、よ～くわかりました！」

著者記す

17 ぐす 【具す】

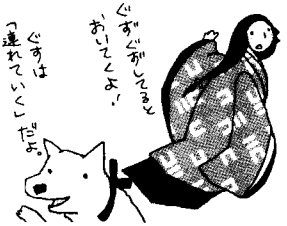
〈動・サ変〉

❶ 連れて行く・伴う
❷ 持つ・備える

類 ゐる（率る）→48

漢語の「具」にサ変の「す」が付いて動詞化した語です。だから、語源的には❷の「備える」とか「整える」とかがもとなのですが、古語としては❶の方がよく現れます。**ペアになっている状況を考えたうえで、ナニがナニを伴っているかを確かめてください。**「with～」の「～」が人ならば❶、物ならば❷というのが原則です。

類義語の「**率る**」には❶の意しかありません。



試験ではこう出た！

Ⅰ　さる程に、大臣殿は九郎大夫の判官に具せられて七日のあかつき、粟田口をすぎ給へば、大内山、雲井のよそにへだたりぬ。

●解釈【記述】

『平家物語』（弘前大）

Ⅱ　さまざまに人の心に感ずるすぢは、おほかた恋の中にとりぐしたり。

●解釈【記述】

『源氏物語玉の小櫛』（愛知県立大）

Ⅰ　訳答　さて、大臣殿（平宗盛）は九郎大夫の判官（源義経）に**連れ**られて七日のまだ暗い頃、粟田口を通り過ぎていかれると、内裏も遠く隔たってしまった。

Ⅱ　訳答　様々に人の心が感じることは、ほとんど恋の中に完全に**備わ**っている。